



長野県看護大学学報



伝統の卒業生記念植樹

卒業生の輝かしい未来の活躍を！

東に仙丈ヶ岳、西に駒ヶ岳、雄大な自然に恵まれた駒ヶ根市に、長野県看護大学が誕生したのは平成7年でした。その翌年、看護大学周辺の景観保全と環境整備を推進する当協議会が、地元住民の熱い思いにより設立しました。

看護大学ふれあい花壇は設立時より続く事業で、今年で22年目になります。卒業生記念植樹は、初代故見藤隆子学長のご発案により、桜のトンネルを造ろうとの思いから「しだれ桜」を植え、今年度で20本を数えます。ようやくトンネルらしくなってきた、見事な薄紅花を咲かせてくれました。

学生の皆さんが、快適な環境で勉学に励めるように、さまざまな事業にかかわっていただき交流が深まるように、今後も努めてまいります。駒ヶ根市が「第二のふるさと」と言われるように。そして、卒業生の輝かしい未来の活躍を願って……

看護大学周辺地域景観形成住民協定協議会 会長 小出一夫さん



卒業生と共に（右が小出会長）



植樹の様子

卒業生記念植樹

植樹の日は、晴天に恵まれる時もあれば、大雪が解けずに北風の吹く中で行われる時もありました。卒業生1人1人の心に残る楽しい学生生活の思い出とともに植樹も刻まれていることを願っています。

植樹は地域の皆様のお力添えのもとに開学時から続いているイベントであり、桜並木を見るたびに改めて地域住民に愛されている大学であることを実感しています。卒業生の心に、駒ヶ根市や大学が第二の故郷として愛しい存在として位置づいていることを願っています。そして、桜並木を見に多くの卒業生が大学を訪れてくれることを願っています。

地域・在宅看護分野助教 酒井 久美子(学部卒業 1期生)

平成29年度 新入生紹介

今年度は学部生85名、大学院博士前期課程5名、博士後期課程1名を迎えました。新入生からいただいたメッセージを紹介します。

高橋葵衣さん(写真右下手前)
看護学部1年生



私は新潟県出身なので、今年の春から一人暮らしを始めることになりました。最初は不安と寂しさでいっぱいでしたが、最近は学校生活にも慣れ、たくさんの友人に囲まれて毎日笑顔で楽しく過ごしています。また、勉強面でも、看護師になるために、日々の学習を疎かにしないように頑張っていきたいと思います。



田口綾菜さん(写真右)
看護学部1年生

入学当初はホームシックに悩まされましたが、今では寮の友達とご飯を食べたりレポートを書いたりして毎日楽しく過ごしています。この大学は自習室や図書館が夜遅くまで開いているので、勉強の環境としてもとてもいいです。

これからは支えてくださっている方々に感謝し、助産師を目指して頑張りたいと思います。

宮坂佐和子さん(写真右)
大学院看護学研究科博士前期課程1年生



若いナースからエネルギーを貰っています。

4月に、基礎看護学領域看護管理学分野に入学しました。病院では管理職を担いながら、長期履修制度を利用してスタートしましたが、現在は仕事と学びの両立に頭の中の整理が難しく試行錯誤しています。看護の現場は人材育成、職場環境改善、高齢者ケアの充実、チーム医療推進における役割拡大への対応など多くの課題があります。管理実践に活かせる研究に取り組み、看護職の魅力を次世代につなげていければと思っています。

新入生オリエンテーション

新入生オリエンテーションでは、オリエンテーリングを通して、友達の輪を広げ、とても充実した時間を過ごすことができました。また、「何でも話してみよう」では、先生や先輩と話をすることができ、不安を減らすことができました。これからの大学生活が楽しみになった二日間でした。

坂田 智美さん(看護学部1年生)

今年も2日間にわたり、「新入生オリエンテーション」を学生委員会と協力し行いました。1年生同士の仲を深めるだけでなく、先生方や在校生と話す機会も設け、初めは緊張した面持ちの1年生も、レクリエーションをしていくうちに、積極的に話しかけたり活動したりと、自分たち自身で楽しもうとする能動的な姿勢が見られました。

今回のオリエンテーションをはじめ、自治会の活動は、在校生や先生方、生協の方々の協力があつたからこそ無事、円滑に行うことが出来ました。1年間貴重な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

藤本 恭子さん(前学生自治会長)



学生生活活動報告

学生たちは、学内だけでなく、学外でも様々な活動をしています。
今回は、学外での活動について紹介します。

カナダへの短期留学

芦沢 奈々さん（看護学部4年生）

大学3年生の夏休みを利用しカナダへ短期留学をしました。カナダでは、語学学校に通いながら週末はアメリカへ小旅行をするなど、とても有意義な時間を過ごせたと思います。また、多くのことを肌で実感し学ぶことができました。その中で、特に印象的だったことは、ありがとうとお礼の言葉をしっかりと行うことです。カナダでは、バスの乗客も降りる時は、必ず運転手に向かって大きな声でThank youと言い、自分の気持ちを表現します。自分の気持ちを人前で表現することが恥ずかしく苦手だった私にとって、とても感銘を受けた出来事でした。他にも、多種多様な人や文化のなかで、異なる価値観に気付き、相手を尊重しながら、自分の視野を広げることができました。これらの経験を看護に生かしていきたいと思っています。



カナダで出会った人たちと
（左が芦沢奈々さん）

カンボジアでのボランティア活動

川口 華奈さん（看護学部3年生）

孤児院や小児病院訪問、遺跡探索など貴重な体験をさせていただきました。その中でカンボジアには日本にはない「豊かさ」や「あたたかさ」があることを強く感じました。私たちの生活は便利で何もかも揃っていますが、カンボジアは医療制度や教育環境が十分に整っていないなど様々な問題があります。しかし、孤児院で出会った子どもたちの笑顔はとても輝いていて、市場や街歩く人々は活気にあふれていました。発展途上であるからこそ自由でのんびりとした、どこか懐かしい雰囲気があり、人々が前向きで力強く生きているのだと感じました。沢山の発見や学びがあったので、今後活かしていきたいです。



ボランティアの仲間たちと



アンコールワット遺跡

退職・退任のお知らせ

懐かしき駒ヶ根

長野県看護大学を退職して3か月が過ぎようとしています。周りの木々はいつの間にか若葉から青葉を茂らせ群れ立つ夏木立の生气あふれる季節になりました。長野県看護大学での在職は私に前進する力を与えてくれました。現在、私は看護教育人生の集大成と思って、一宮研伸大学に奉職しています。「看護とは何か」を追求する看護実践者の礎となるべく基礎看護学を教育してきました。その中で今思うことは知識や技術を教育することも重要ですが、究極は品格と教養の涵養に自ら範を示すとともに若者の未来にどのように手助けができるか、未来を切り開く知恵を若い学生たちと考えていきたいと思っています。

小林 たつ子

(元基礎看護学分野教授)



退任記念講演にて

新任教職員紹介

これまで野生のチンパンジーを観察したり、国内外の里山を巡り歩いて、人間とは何か考えてきました。本学では看護という視点を加え、視野をどんどん広げていきたいと思っています。学生の皆さんと一緒に学び、考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

座馬 耕一郎 (社会・経済学分野准教授)

平成7年の開学から23年目を迎え、着実に伝統を築きつつある本学に着任し、身の引き締まる思いです。

2つのアルプスに代表される美しい景観や清涼な気候のもと、研究・教育活動がより充実し、活気に満ちた大学づくりのお手伝いできればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

刈間 俊也 (事務局次長)



左から、刈間俊也(事務局次長)、佐々木剛(教務・学生課長補佐)、小林由美子(基礎看護学分野助教)、座馬耕一郎(社会・経済学分野准教授)、久保知奈津(老年看護学分野助手)、小笠原千寿子(総務課主幹)

施設紹介

情報処理教室
(教育研究棟3
階)は、コンピュ
ータ(PC)を使用
して個人学習す
る場所です。講

義や演習以外の時間は自由に利用でき、全PCは
学内LANに接続されています。時代ニーズ、施設
の充実を図るため、定期的に機器更新も行ってい
ます。2017年3月に機器更新を行い53台の高性能
PCと24インチのディスプレイ、最新のプリンタ、複合機、ソフトウェアが準備された素晴らしい環境となっ
ています。



情報処理教室 松澤 喜久美

本学付属図書館は、約7万4千冊の書籍と約920誌の雑誌・学会誌を所蔵しています。実習期間中は学生及
び教職員に限り21時まで利用でき、同期間中土曜日も開館しております。18歳以上であればどなたでも、運
転免許証等身分証明書をご提示いただければ、利用証を発行し閲覧や館外貸出（5冊2週間）が利用できます。
ご来館お待ちしております。

付属図書館 原 猛



安くて美味しい食事がとれる♪必要なものが手に入る！困ったことが気軽に相談できる…そんな身近なお店
を目指しています。皆さんが充実した大学生活を送れるよう、スタッフ一同笑顔でお手伝いさせていただきます。
皆さんのご利用をお待ちしております。

長野県看護大学生協職員一同



フォト かんごだい

平成28年12月～平成29年5月



12月22日
卒業研究発表会
(地域・在宅看護学分野)



1月25日 平成28年度認定看護師
教育課程修了式



2月3日 学生自治会
4年生の国試を応援する会



2月18日 平成28年度公開講座
小林たつ子教授退任記念講演
「看護ケアの意味するものー治る力を引き出すために」



2月21日 修士論文発表会



3月7日
看護実践国際研究センター看護地域貢献
研究部門高齢者水中運動講座プロジェクト
平成28年度骨密度測定大会



3月11日
平成28年度卒業式・修了式



3月17日
平成28年度長野県看護大学研究集会



3月21～31日
中国医科大学一行来学



4月6日
平成28年度入学式



4月21日
伊那神経科病院とのユニフィケーション
協定調印式



5月26日
長野県看護大学生協同組合
第19回通常総会

実習FD研修会

実習委員会（母性・助産看護学分野准教授 阿部 正子）



3月23日（木）に藤沢市教育文化センターの目黒悟先生をお招きし『教える人としての私を育てる～実習指導におけるリフレクション～』というテーマで学内外から61名が受講しました。講師のユーモアたっぷりの講義と「イメージマップ」を用いた演習を通して、教えることの本質にあらためて気づきを得たり、次年度の実習指導に生かせる手がかりをつかめた3時間となりました。

看護ユニフィケーション研修会

ユニフィケーションチーム（基礎看護学分野教授 伊藤 祐紀子）

平成29年2月「最近の学生について感じること・学生の特徴を捉えた関わり方」をテーマに開催しました。ユニフィケーション協定締結の4施設に実習でお世話になっている11施設を加え、看護職46名と本学教員36名が集いました。10グループに分かれて実施されたグループ討議では、様々な側面、角度から看護学生の特徴や傾向を捉え、今後の実習指導の手掛かりを得ることができました。



本学の認定看護師教育

認定看護師教育部門（認知症看護分野主任教員 細田 江美）

日本における医療の高度化、専門分化に対応したより質の高い看護ケアを提供できる人材の育成をめざし、専門職に対する継続教育を始めてから7年目を迎えました。今までに皮膚・排泄ケア（平成23～25年）、感染管理（平成23～28年）、認知症看護（平成25年～）の3分野あわせて168名が認定看護師として県内をはじめ全国で活躍しています。年齢や経験も様々な受講生の皆さんですが、久々の学生気分を味わいつつ、8か月間、演習や実習を通じて学びを深めています。



高齢者水中運動講座会員との交流



INFORMATION



平成29年度公開講座

「佐久総合病院と今後の地域医療」

講師 伊澤 敏先生 JA長野厚生連 佐久総合病院 統括院長兼院長
日時 平成29年9月16日(土)14:00～15:30(受付開始13:30)
会場 長野県看護大学 大講義室(教育研究棟3階)

第22回鈴風祭

『SHINE ～輝くお前が見てみたい～』

日時
 平成29年9月9日(土)10:00～16:30
 10日(日)10:00～14:00



鈴風祭実行委員会の皆さん
(前列左から4番目が実行委員長の宇佐美朱理さん)

長野県看護大学 大学院看護学研究科入学試験 平成30年度入試の募集人員・日程

1次試験

試験名	博士前期課程試験	博士後期課程試験
出願期間	H29. 9. 28 (木) ～ H29. 10. 5 (木)	
試験日	H29. 10. 21 (土)	
試験科目	小論文・専門科目 ※英語・面接	英語・口述試験
合格発表	H29. 10. 26 (木)	

2次試験 (1次試験で定員に達しない場合に実施)

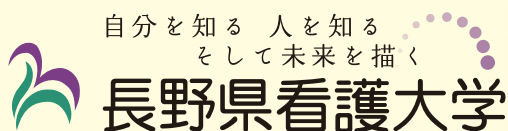
試験名	博士前期課程試験	博士後期課程試験
出願期間	H30.1. 5 (金) ～ H30. 1. 12 (金)	
試験日	H30. 1. 27 (土)	
試験科目	小論文・専門科目 ※英語・面接	英語・口述試験
合格発表	H30. 2. 1 (木)	

募集人員：前期課程16名, 後期課程4名

専門学校・短期大学を卒業した方も、事前審査により出願できます

※論文コースの特別選抜とCNSコースでは英語を免除します

特別選抜には施設長による推薦と5年以上の臨床経験が必要です



〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694 TEL 0265-81-5100 <http://www.nagano-nurs.ac.jp/>



長野県看護大学学報
No.44 (平成29年7月)

編集・発行
長野県看護大学広報・交流委員会

大学院だより

vol.4

■ 看護海外研修の概要

14 回目となる今年度の海外研修は、昨年と同様、カリフォルニア大学（USF）とサミュエル・メリット大学（SMU）を訪れました。また、この研修プログラムの創設者でもあります本学名誉教授のアン・デイビス先生宅を表敬訪問いたしました。この研修を通して、最先端の看護技術や看護研究等に触れられることはもちろん、文字や映像だけでは伝わらない看護師らの態度、考え方、姿勢を学ぶことが最大の収穫だと感じています。是非、多くの教員や学生のみなさまにも体験していただきたいと思います。

井村 俊義(英語・英米文化学分野准教授)



■ SMUでのシミュレーション教育

私の専門領域は、基礎看護技術教育ですので、やはり最も多くの刺激を得たのは、シミュレーション教育でした。この研修は、私がこれまで長年取り組んできた教育の方向性への保証と、今後さらなる工夫に向けての課題を与えてくれるものとなりました。SMU では、シミュレーションを体験するという貴重な機会もいただきました。学びをエンジョイするための細やかな工夫と配慮は、本学の教育にも少しずつ取り入れていきたいと考えています。

伊藤 祐紀子(基礎看護学分野教授)



■ 看護海外研修へ参加した感想

平成27年度に引き続き、平成28年度看護海外研修に参加させて頂いた。カリフォルニア大学（USF）とサミュエル・メリット大学（SMU）での施設見学や実際の授業に参加させて頂いたり、実際のシミュレーション教育やプレゼンテーションといった貴重な体験もさせて頂いたことで、看護教育における新たな知見や示唆を得ることができた。また、本学名誉教授であるアン・デイビス先生を表敬訪問させて頂き、歓迎して頂いたことも大変喜ばしい素敵な思い出である。今後も、本研修で学び得た多くのことを時折思い出しながら、この世の中に存在する多様性を受け入れ、失敗を恐れずに何事にも熱意をもって Challenge し続け、それを Enjoy していきたい。

牛山 陽介さん(大学院看護学研究科博士前期課程2年生)



牛山さんプレゼンテーション風景

■ 大学院生の紹介



私は 2015 年度から 2 年間長野県看護大学の研究生となり、2017 年 4 月より当該大学院里山・遠隔看護学分野の大学院生となりました。それ以前は、中国で看護師を 2 年間務めていました。

駒ヶ根はとても綺麗で、空気が清々しいと感じています。学内の先生方も大変親切で心から感謝しております。また、色んな分野の学生たちとも交流し、様々な学びを体験しています。特に研究生の時に、大鹿村のフィールドワークに参加して、高齢者の皆様と真夏に一緒に農作業をしたり、秋の収穫祭で料理を作ったり、餅つきをしたり話したりなど貴重な体験をすることができました。本当に楽しい思い出となりました。

これから、日本の在宅看護・介護等の優れた地域包括ケアをしっかり学習して、母国の高齢化問題の解決に少しでも貢献し、母国の看護学の発展に寄与するとともに、日本と中国の交流の架け橋になりたいと思います。

王 艶薇さん(大学院看護学研究科博士前期課程1年生)

私は、看護管理学分野で看護倫理教育に関する研究に取り組んでいます。先生とのディスカッションは、概念を様々な視点から捉え、こんな見方もあるのだと多くの気づきがあります。入学して 2 か月ですが、先生のもとで、研究テーマを探求できる楽しみを日々感じています。

私は、今大学で勤務しながら学業を両立させています。この博士課程では、研究者としてだけではなく、教育者としても成長できる場だと確信しています。学ぶ姿勢を持ち、多くのことを吸収できるように努力していきたいと考えています。

吉岡 詠美さん(大学院看護学研究科博士後期課程1年生)



■ 教員の研究紹介

金子さゆり（看護管理学分野教授）

看護管理学分野では、限られた社会資源の中で、患者の安全確保はもちろんのこと、医療や看護の質をいかに向上させることができるのかについて日々研究に取り組んでいます。

特に、安全で質の高いケアを提供していくためには、看護職員の質的向上が必須であり、そのためには看護管理者のマネジメント能力の向上が欠かせません。現在、看護管理者の能力向上を目指した効果的な組織的人材育成の方策を検討しています。また、長期療養施設や在宅領域においてもケアの質評価を行い、合理的な医療・介護サービスのあり方を検討しています。

